

1. 単元 金沢文化発信

2. 目標
- ・副読本の文章をもとに、金沢の文化を紹介することができる。(表現)
 - ・副読本の Chapter-1,2 の本文を読んで、金沢の文化を読み取ることができる。(理解)
 - ・Chapter-1,2 の本文内容に関しての T or F や Q&A (Activity1,2) ができる。(理解)
 - ・金沢に対する意見や思いを相手にわかりやすく伝えることができる。また、他人の金沢に対する意見や思いを理解することができる。(関心・表現)

3. 指導にあたって

(1) 教材観

金沢の文化を英語で表現するにあたり副読本を有効活用していく。副読本の Chapter-2 の本文を Oral Introduction を通して内容を理解する。そして、金沢の文化や名所を紹介するときに使える表現を学んでいきたい。また、Activity1,2 を通して出てきた自分の考えを元に表現の活動へと持っていく。その際生徒に表現させたい文を副読本の分を元に 4 文程度、精選する。その他の文については理解の程度とする。精選した文は全員暗唱できるまで指導し、生徒の表現活動につながるインプット活動をしていきたい。

(2) 指導観

副読本の内容理解の単元では、一方的な授業にならないよう、発問を増やし、声を出しながら本文を理解していくよう心がける。書くことには意欲的だが、うまく英語で表現が出来ない生徒もおり、writing の単元では質問が多く、全てに答えられない状況になるときがある。金沢を表現するうえで便利な表現をないよう理解の中で指導していきたい。また、総合的な学習の時間、「飛梅タイム」での学習の成果も授業で紹介して、生徒の動機付けにつなげたい。

(3) 生徒観

男子 17 名、女子 15 名、計 32 名のクラスである。習熟の程度に差は見られるが、助け合いながら活動をしていこうとする良い雰囲気がある。英語活動への取り組みも活発で、男女同士のペア活動もすんなり取り組んでいる。しかし、雰囲気に流されて、活動の内容を理解できていない生徒もいる。本当に理解しているかどうかよく確かめながら授業を行っていきたい。

(4) 総合的な学習の時間とのかかわり

総合的な学習の時間では、『ふれる・みがく・さぐる』の3分野があり、特に『ふれる』の中の国際理解には大きく関わっている。英語科で学んだコミュニケーション活動が言語は違っても、人とコミュニケーションをとらなければならない活動でいきると考えられる。

総合的な学習の時間での調べ学習やその発表を通して、飛梅タイムでは、「金沢」をテーマにしたグループがある。金沢や自分達の住む地域について調べ学習をし、発表するのだが、英語で地域を紹介したり、パンフレットを作成している。飛梅タイムで完成した作品を授業で紹介することで生徒に英語で表現することへの刺激を与えたい。

4. 評価規準

評価	A ;十分に満足できる	B ;おおむね満足できる	C ;努力を要する
金沢の文化を紹介したり、自分の考えをいうことができる。	紹介のみならず、自分の意見や考えを豊富に取り混ぜて言うことができる。	Oral Introduction で音読した内容を暗唱し、金沢の文化を紹介できる。	
支援	Activity でより自分の意見を書かせる。	暗唱しやすいよう、発問・板書を工夫する。	まず、精選した内容を副読本で確認し、音読できるよう指導する。

評価	A ;十分に満足できる	B ;おおむね満足できる	C ;努力を要する
・相手に分かりやすく金沢に対する考えや思いを伝えることができる。金沢の文化や相手の思いを理解する。	・新しい意見や考えを發表することができる。 ・発音にも気をつけて發表が出来る。 ・發表の内容や相手の考えを正確に理解できる。	・自分のワークシートをもとに意見や考えを發表することができる。 ・發表の内容や相手の考えを理解できる。	
支援	他人の意見や考えをもとにその場で新しい發表内容を考えさせる。	すでに出た内容でもかまわないので、ワークシートをもとに發表させる。	ワークシートの表現活動や音読指導を個別に指導する。

5. 指導計画

	生徒の学習活動	支援や留意点	評価方法
第1次 (10時間) Chapter-1, 2 の内容理解	・Oral Introduction を通して、本文内容を理解する。 ・Activity1, 2 の活動をする。	本文には習っていない文法事項があるので、それらを用いなくて、内容を理解できるよう発問を工夫する。Q&A でつまづく生徒には、まず Answer に必ず必要なキーワードを挙げさせる。また、表現活動につながる Answer になるよう指導する。	・発言 ・ワークシート ・単元テスト

第2次 (2時間) グループでの考えや意見の出し合い	・Activity1, 2 をもとにグループ内で考えや思いを發表する。 ・自分の考えや思いを伝える内容の英文をグループ内でまとめる。	Oral Introduction でインプットした文と Activity の Q&A をつなげていき、まとめた文を書かせる。Chapter-2 でなかなか自分の意見や思いが出てこない場合は、金沢に関して知っていること、体験したことなどを引き出して自分の意見思いを書かせる。	・ノート ・ワークシート
第3時 (1時間) 本時	・Chapter-1, 2 の復習をする。 ・自分の考えや思いをクラスで發表する。 ・金沢を紹介する文を1つ、全員で作る。	・Oral Introduction でインプットした文をもう一度確認する。 ・自分のワークシートをもとに金沢の思いや考えを各項目ごとに發表していく。 ・出てきた文章をもとにして、金沢の紹介文作成を支援する。	発言 ワークシート

6. 本時の学習

(1) 題目 金沢の文化を紹介しよう

(2) ねらい・副読本の文章をもとに、金沢の文化を紹介することができる。(表現)

・金沢に対する意見や思いを相手にわかりやすく伝えることができる。また、他人の金沢に対する意見や思いを理解することができる。(関心・表現)

(3) 準備・資料

Oral introduction で使うフラッシュカード・写真、出やすい意見や考えを書いたカード

(4) 展開

生徒の活動	教師の支援・評価(※)は評価観点	時間
<p>greetings</p> <p>①Chapter-1,2 の復習をする。</p>	<p>・大きな声であいさつをする。</p> <p>・Oral Introduction でインプットした Chapter-1,2 の内容をもう一度復習する。</p> <p>・生徒が暗唱した文を引き出せるような発問をさせ、暗唱できるか、チェックする。</p> <p>※副読本の文章をもとに、金沢の文化を紹介することができる。(表現)</p>	10分
<p>②自分やグループのワークシートをもとにして、金沢に対する意見や思いを発表する。班でより多くの意見を発表する。</p>	<p>・“Kenrokuen” ”Gold leaf” ”Kaga food” ”the Hyakumangoku Festival”の各項目に対する意見や思いを発表させる。発言するごとにグループにポイントを与え、発言回数を競わせる。</p> <p>※他人の金沢に対する意見や思いを理解することができる。(関心・表現)</p> <p>※相手のスピーチを通して、金沢の文化を知ることが出来る(関心・理解)</p> <p>※金沢に対する意見や思いを相手にわかりやすく伝えることができる。</p>	25分
<p>③出し合った意見や思いをもとに、金沢の紹介文をみんなで1つをつくりあげる。できた文の暗唱にチャレンジする。</p> <p>④本時のまとめ</p>	<p>・黒板にまとめた意見や考えを1つの紹介文にまとめるようコーディネートして、発問する。</p> <p>※副読本の文章をもとに、金沢の文化を紹介することができる。(表現)</p>	15分

(7) 本時の問題点

- ・精選した文を全員暗唱することができたか。
- ・金沢に対する意見や思いを積極的に発表できたか。
- ・相手の発表を真剣に聴き、内容や友達のを考えを理解できたか。